

CROSSROADS

第7話 信頼を揺るがすミス

The Wrong Number / プロフェッショナルな謝罪

DAY 51 / 90

健司は8回謝った。事態は1ミリも動かなかった。求められていたのは、回数ではなかった。

素材：上級（C1）

解説：中級から

短い文と短い応酬が続きます。Okay. / Status. / Go on. のように、1語で返す場面が多い回です。

難しいのは、その1語の温度差です。プリヤの Okay. は許していません。

報告の英語は型が決まっているので、覚えれば自分で言えるようになります。聞くより話すほうが早く身につく回です。

- 謝罪の回数で誠意を示す癖をやめ、事実・対策・証拠の3点で報告できるようにする。
- 「気をつけます」を、仕組みの言葉に置き換えられるようにする。
- 被害を受けた相手に、回復の方法を推測せずに聞けるようにする。

CROSSROADS — 90 Days at NY HQ（架空） / 動画本編：第7話 信頼を揺るがすミス（全10話）

1	この回の設定	3
2	登場人物	3
3	今回のミッション	3
4	シーンの流れ	4
5	スクリプト（英日対訳・チップ付き）	5
6	健司の英語は、どこが機能しなかったか	11
7	キーフレーズ ✕→○	12
8	遠回し表現の読み解き	15
9	音の変化	15
10	文法・語法の解説ポイント	17
11	多義語のワナ	18
12	演習	19
13	解答	21

進め方

- ① スクリプトを英文だけで音読する。辞書は引かない。
- ② 和訳で答え合わせ。
- ③ 発言6～13（8回の謝罪）と発言31～43（やり直した報告）を読み比べる。起きた事実は同じで、順番だけが違う。
- ④ 遠回し表現の章は「本当の意味」を隠して当てる。
- ⑤ 演習を解く。
- ⑥ 次にミスをしたとき、謝罪は1回だけにする。

1 この回の設定

着任51日目。健司が日本本社から受け取った稼働率のデータは3か月前のものだった。それを確認せずに顧客向け資料へ載せ、プリヤは大口顧客の前で誤った数字を読み上げてしまう。健司は日本式に何度も謝るが、事態は改善しない。求められていたのは謝罪の回数ではなく、事実と、対策と、それがもう動いているという証拠だった。

英語の職場では、謝罪の回数は信頼の量になりません。

評価されるのは、事実と、対策と、それがすでに動いていることです。第7話では、その型を6つ身につけます。

音声はすべて英語。日本語訳は画面の字幕だけです。

2 登場人物

Name	カナ	歳	役割	キャラ	背景
Kenji Sato	佐藤 健司	32	新規事業開発部 PM（出向）	謝りすぎる	51日目。交渉はできるようになった。ミスをしたときの振る舞いだけが、まだ日本式のままだ。
Sarah Miller	サラ・ミラー	42	新規事業開発部 部長	謝罪より 対策を聞く	Wall Street出身。ミスの報告を受けたとき、最初に聞くのはいつも「で、どうするの」。
Mark Stevens	マーク・ステ ィーブンス	38	シニア・プロダク トマーケター	味方にな った	生粋のNY育ち。第5話以降、健司を仲間として扱っている。だから容赦なく言う。
Elena Rodriguez	エレナ・ロド リゲス	29	リード・プロダク トデザイナー	仕組みで 直す	ヒスパニック系アメリカ人。人を責めずに、二度と起きない作りにすることを考える。
David Chen	デビッド・チ ェン	38	ファイナンス・リ ード	数字だけ で判断する	アジア系アメリカ人2世。誤った数字がどこまで出回ったかを、真っ先に確認する。
Priya Sharma	プリヤ・シャ ルマ	30	カスタマーサクセ ス・マネージャー	今回の被害者	インド出身・在米6年。顧客の前でその数字を読み上げたのは、彼女だった。
Richard Hale	リチャード・ ヘイル	56	COO（最高執行責任者）	90日後に 判断する人	Go/No-Goの決定権を持つ。今回は名前だけが 出て、姿は見せない。

3 今回のミッション

達成条件	誤った数字による損害を止め、プリヤの信頼を回復する
結果	前半は失敗（8回の謝罪）、後半で成功（4か所修正・仕組み導入・CTOへのメール）

起きたこと	3月時点の稼働率99.4%を現行資料に転記。実際は96.1%
被害	プリヤが大口顧客のCTOの前で読み上げた。誤りは計4か所に拡散
健司の対応	25分で8回の謝罪。そのあとに「東京から来たファイルで」と言い訳
今回の型	プロフェッショナルな謝罪（Owning It）6フレーズ

4 シーンの流れ

発言	日	シーン	English	場所・時刻
1-13	DAY 51	3か月前の数字	A Number from March	34階 オープンフロア 2:05 PM
14-30	DAY 51	8回の「すみません」	Eight Apologies	34階 廊下 2:30 PM
31-48	DAY 51	仕組みで返す	Fix the Machine	サラのデスク、そして給湯室 5:10 PM

5 スクリプト（英日対訳・チップ付き）

チップの色 **KEY** 覚えて使う表現 **NG** 文法は正しいが機能しない **SOFT** 遠回し。本音は別にある
音読の手順 ①英文だけを見て声に出す ②和訳で意味を確認 ③KEY（金）だけを止まらずに言えるまで繰り返す

3か月前の数字 A Number from March 34階 オープンフロア 2:05 PM

1 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

Kenji. The uptime figure in the Halvorsen deck. Ninety-nine point four.

健司。ハルヴォーセン向け資料の稼働率。99.4パーセント。

2 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Yes. That's from headquarters.

はい。本社からのデータです。

3 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

I read it out loud. In the room. To their CTO.

それを読み上げたの。あの部屋で。先方のCTOに向かって。

4 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

That's correct, isn't it?

合っていますよね？

5 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

It was correct in March. It's ninety-six point one now. He had the status page open on his laptop.

3月時点ではね。今は96.1。彼はノートでステータスページを開いていたわ。

6 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

失敗①

I'm so sorry. I'm really sorry. It was the file that Tokyo sent me, and I assumed —

本当にすみません。本当に申し訳ありません。東京から送られてきたファイルで、てっきり——

NG I'm so sorry... it was the file that Tokyo sent me... 謝罪の反復のあとに言い訳。この順番で信頼はさらに落ちる

7 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

遠回し

Okay.

そう。

SOFT Okay. 許してはいない。会話を終わらせてだけ

8 **David Chen** ファイナンス・リード

Where else does that number appear?

その数字は他にどこに出ている？

9 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

...I would have to check.

……確認しないと分かりません。

10 **David Chen** ファイナンス・リード

Then that's the first thing. Not the apology. The blast radius.

ならそれが最初だ。謝罪じゃない。被害範囲だ。

11 **Mark Stevens** シニア・プロダクトマーケター

It's in the renewal deck for Brightpath. And the sales one-pager. I'd guess four places.

ブライトパスの更新資料に入ってる。あと営業の1枚もの。たぶん4か所だ。

12 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

失敗②

I am very sorry. I will be more careful next time.

大変申し訳ありません。次回はもっと気をつけます。

NG I will be more careful next time. 精神論。仕組みが変わらないので、相手は同じミスを想定し続ける

13 **Mark Stevens** シニア・プロダクトマーケター

Careful isn't a process, man. Nobody's mad at you. We just need the four places fixed.

気をつける、は仕組みじゃない。誰も怒ってないよ。4か所直せばいいだけだ。

NG Careful isn't a process. 気をつけますは、対策として数えられていない

8回の「すみません」 Eight Apologies 34階 廊下 2:30 PM

14 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Priya. May I apologize properly.

プリヤ。改めて謝らせてください。

15 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

You've said sorry eight times in twenty-five minutes. I counted.

25分で8回「すみません」を聞いたわ。数えてたの。

16 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

In Japan, that is how we show it is serious.

日本では、それが重く受け止めていることの示し方なんです。

17 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

核心

I know. I did the same thing for two years. Here, the eighth sorry makes you look less reliable, not more.

知ってる。私も2年やった。ここでは8回目の「すみません」は、頼りがいが増すんじゃなくて、減るの。

KEY The eighth sorry makes you look less reliable. 謝罪の回数は信頼の量にならない。むしろ減らす

18 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Then what do they want?

では、何を求めているんですか。

19 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

Three things. What happened. What you're doing about it. And proof it's already moving.

3つよ。何が起きたか。それに対して何をしているか。そしてそれがもう動いているという証拠。

KEY What happened. What you're doing. Proof it's moving. 英語の謝罪はこの3点。感情はどこにも入らない

20 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

And the apology?

謝罪は？

21 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

本日の型

Once. Four words. "That one's on me." Then never again in that conversation.

1回。4語よ。「That one's on me.」そのあとは、その会話では二度と謝らない。

KEY That one's on me. それは私の責任です — 責任の所在を一言で。1回だけ

22 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Only once. That feels too light.

1回だけ。軽すぎる気がします。

23 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

It's heavier. Once means you're finished apologizing and you're starting work.

逆に重い。1回だけって、謝るのは終わって、もう仕事に入ったって意味だから。

24 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

And drop "Tokyo sent it to me." The second you explain who else touched it, the apology stops counting.

それと「東京から送られてきた」は捨てて。誰か他の人が触ったと説明した瞬間、謝罪は数えられなくなる。

KEY Drop "Tokyo sent it to me." 言い訳が1つ入ると、謝罪はゼロになる

25 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

But it is true. The file really did come from Tokyo.

でも事実です。ファイルは本当に東京から来ました。

26 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

It's true and it's not yours to say. Let David find that out from the file history. From you it's an excuse.

事実でも、あなたが言うことじゃない。デビッドがファイル履歴から見つければいい。あなたの口から出れば、それは言い訳になる。

KEY It's true and it's not yours to say. 事実かどうかではなく、誰の口から出るかで意味が変わる

27 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

...Then what do I say about the four places?

……4か所については、何と言えればいいですか。

28 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

Nothing. You fix them first, then you speak. Come back when it's done.

何も。先に直して、それから話すの。終わってから来て。

29 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

And to you? For the room, with their CTO?

あなたには？先方のCTOの前での件は。

30 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

Ask me what would make it right. Don't guess.

どうすれば取り返せるか、私に聞いて。推測しないで。

KEY Ask me what would make it right. 被害の回復方法は、被害を受けた本人にしか分からない

仕組みで返す Fix the Machine サラのデスク、そして給湯室 5:10 PM

31 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

やり直し

Sarah. The uptime number in three customer decks was wrong. That one's on me.

サラ。3件の顧客資料の稼働率が誤っていました。それは私の責任です。

KEY That one's on me. 1回だけ。言い訳なし。ここから先は全部、対策の話

32 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

Go on.

続けて。

33 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Here's what happened, and here's what I'm doing about it. A March figure carried into current decks. It appeared in four places, not three — I found the fourth an hour ago.

何が起きたかと、それに対して何をしているかを申し上げます。3月時点の数字が現行資料に持ち越されていました。3か所ではなく4か所です。4つ目は1時間前に見つけました。

KEY Here's what happened, and here's what I'm doing about it. 事実→対策の二段構え。感情は入れない

34 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

Status.

状況は。

35 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

All four are corrected and re-sent. I've already put a fix in place — let me walk you through it.

4件とも修正して再送済みです。再発防止もすでに入れました。ご説明します。

KEY I've already put a fix in place. すでに動いていると示す。これが3点目の「証拠」

36 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

Walk me through it.

説明して。

37 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

It won't happen again, and here's why — every customer-facing number now pulls from the live status page, and nothing ships without a date stamp on the source.

二度と起きません。理由を申し上げます。顧客に出す数字はすべてライブのステータスページから引くようにし、出典に日付が入っていない資料は出せない仕組みにしました。

KEY It won't happen again, and here's why — 精神論ではなく仕組みで語る。「気をつけます」との決定的な差

38 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

Who built that?

それは誰が作ったの。

39 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Elena, in forty minutes. I asked her before I came to you.

エレナです。40分で。ここへ来る前に頼みました。

40 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

So you fixed it, you shipped the fix, and then you told me.

つまり、直して、対策も入れて、それから私に報告したのね。

41 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Yes. I should have flagged it earlier — I found the March date at eleven and told you at five.

はい。もっと早くお伝えするべきでした。3月の日付に気づいたのは11時で、報告は5時になりました。

42 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

That's the only part I'd change. Six hours is a long time to be the only person who knows.

直すべきはそこだけね。自分だけが知っている状態で6時間は長い。

KEY I should have flagged this earlier. 何を怠ったかを具体的に認める。時刻まで出す

43 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

Otherwise — that's how it's done. Go talk to Priya.

それ以外は、やり方として正しい。プリヤのところへ行きなさい。

44 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Priya. The four decks are corrected and re-sent. What can I do to make this right for you?

プリヤ。4件の資料は修正して再送しました。あなたに対しては、どうすれば取り返せますか。

KEY What can I do to make this right for you? 相手の被害の回復に踏み込む。推測せずに聞く

45 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

Email their CTO. From you, not from me. Say the number was yours and the correction is yours.

先方のCTOにメールして。私からじゃなく、あなたから。数字はあなたのもので、訂正もあなたのものだと書いて。

46 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Sent forty minutes ago. You're copied.

40分前に送りました。あなたもCCに入っています。

47 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

(checking phone) ...You put my name in the second line. "Priya presented the figure I gave her."

（携帯を見て）……2行目に私の名前がある。「プリヤは私が渡した数字を提示した」。

48 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

That sentence is worth more than eight apologies. Thirty-nine days left. Don't waste them saying sorry.

その一文は、8回の謝罪より価値がある。残り39日。謝罪に使わないで。

6 健司の英語は、どこが機能しなかったか

誠実なのに、信頼が戻らない

L6 I'm so sorry. I'm really sorry. It was the file that Tokyo sent me...

NG 1

謝罪を反復したあとに言い訳が続いている。この順番だと、聞き手には「謝ってはいるが自分のせいだとは思っていない」と伝わる。言い訳が一つ入った時点で、その前の謝罪は無効になる。

L12 I will be more careful next time.

NG 2

精神論であって、仕組みが何も変わっていない。相手から見れば同じミスが起きる確率は昨日と同じ。マークの Careful isn't a process. がそのまま答えになっている。

L9 I would have to check.

NG 3

謝罪を先に、被害範囲の把握を後にした。デビッドが最初に聞いたのは「他にどこに出ているか」で、これが実務の第一手。感情の処理より、止血が先に来る。

結論 三つとも、誠実です。ただ英語の職場では、どれも対策として数えられません。評価されるのは、事実と、対策と、それがすでに動いていること。

7 キーフレーズ ✕ → ○ (6)

左が健司の英語、右が実際に使われる形です。左は文法的に間違っていないです。長さ・順番・立ち位置だけが違います。まず左を読んで、どこが引っかかるかを自分で言葉にしてから右を読むと定着が速くなります。

1 直訳「その一件は私の上に乗っています」

That one's on me.

それは私の責任です。

✕ 文法は正しい。でも通らない

I'm so sorry. I'm really sorry. It was the file that Tokyo sent me.

本当にすみません。本当に申し訳ありません。東京から送られてきたファイルで。

謝罪の反復のあとに言い訳。言い訳が入った瞬間、その前の謝罪は全部無効になる。

○ 実際に使われる形

That one's on me.

それは私の責任です。

責任の所在を4語で確定させる型。on me は「私の側にある」で、誰が悪いかの議論をその場で終わらせる。重要なのは回数で、1回だけにする。1回だけ言うのは軽いのではなく、謝罪を終えてもう作業に入った、という宣言になる。そして絶対に but や because を続けない。

使う場面 自分に起因するミスが判明した直後。最初の一言として。

言い換え

That's on me.

My miss.

I own that one.

ドラマ内 L31 Kenji Sato : Sarah. The uptime number in three customer decks was wrong. That one's on me.

2 直訳「これが起きたことで、これが私がそれについてしていることです」

Here's what happened, and here's what I'm doing about it.

何が起きたかと、それに対して何をしているかを申し上げます。

✕ 文法は正しい。でも通らない

I am very sorry for the trouble I have caused everyone.

皆様にご迷惑をおかけして大変申し訳ありません。

情報がゼロ。聞き手は状況も対策も分からないまま、感情の処理だけを求められる。

○ 実際に使われる形

Here's what happened, and here's what I'm doing about it.

何が起きたかと、それに対して何をしているかを申し上げます。

事実と対策を一文で並べる型。ここで大事なのは and で繋いで一息で言うこと。事実だけで止めると報告になり、対策だけだと隠したように見える。そして事実の側は、自分に不利な情報から先に出す。健司が「3か所ではなく4か所」と自分から訂正したことで、報告の信頼度が上がっている。

使う場面 上司や関係者に第一報を入れるとき。

言い換え

Here's the situation and here's the plan.

Two things: what broke, and what I've done.

Short version: X happened, Y is in flight.

ドラマ内 L33 Kenji Sato : Here's what happened, and here's what I'm doing about it. A March figure carried into current decks. It appeared in four places, not three — I found the fourth an hour ago.

3 直訳「すでに修正を所定の位置に置きました。順にご案内させていただきます」

I've already put a fix in place — let me walk you through it.

再発防止はすでに入れました。ご説明します。

× 文法は正しい。でも通らない

I am planning to fix it as soon as possible.

できるだけ早く修正する予定です。

予定は成果ではない。as soon as possible は期限が入っていないので、何も約束していない。

○ 実際に使われる形

I've already put a fix in place — let me walk you through it.

再発防止はすでに入れました。ご説明します。

すでに動いているという証拠を出す型。already と現在完了が効いていて、これは意思表示ではなく完了報告になる。人がミスを許すのは謝られたときではなく、もう手を打ったと分かったときで、その順番は変えられない。報告する前に手を打っておくのが前提で、健司は報告の前にエレナに仕組みを作らせている。

使う場面 第一報の直後。相手が「で、どうするの」と思っている瞬間。

言い換え It's already fixed — here's how.

Done as of an hour ago. Want the detail?

The fix shipped. Let me show you.

ドラマ内 L35 Kenji Sato : All four are corrected and re-sent. I've already put a fix in place — let me walk you through it.

4 直訳「二度と起きません。そしてこれがその理由です」

It won't happen again, and here's why —

二度と起きません。理由を申し上げます。

× 文法は正しい。でも通らない

I will be more careful next time.

次回はもっと気をつけます。

気をつけるは仕組みではない。相手から見れば、同じミスが起きる確率は昨日と変わらない。

○ 実際に使われる形

It won't happen again, and here's why —

二度と起きません。理由を申し上げます。

再発防止を仕組みで語る型。肝は and here's why で、これが無いと単なる決意表明になる。人の注意力ではなく、作りを変えたことを示す。健司の説明は「数字はライブページから引く」「日付の無い出典は出せない」という二つの構造変更で、これなら健司が退職しても再発しない。そこまで来て初めて対策と呼ばれる。

使う場面 対策を説明する場面。決意で終わらせたくないとき。

言い換え Here's the guardrail I added.

I changed the process, not just my behavior.

The system now blocks it. Let me show you.

ドラマ内 L37 Kenji Sato : It won't happen again, and here's why — every customer-facing number now pulls from the live status page, and nothing ships without a date stamp on the source.

5 直訳「私はこれをもっと早く旗を立てて示すべきでした」

I should have flagged this earlier.

もっと早くお伝えするべきでした。

× 文法は正しい。でも通らない

I did not want to disturb you until I had a solution.

解決策ができるまでお騒がせしたくありませんでした。

配慮のつもりが、情報を握っていた理由の説明になる。相手には隠していたと聞こえる。

○ 実際に使われる形

I should have flagged this earlier.

もっと早くお伝えするべきでした。

何を怠ったかを具体的に認める型。謝罪ではなく、行動の遅れをピンポイントで名指しする。時刻まで出すと精度が上がり、健司は「11時に気づいて5時に報告した」と自分から言っている。ここまで具体的だと、相手はもうそれ以上追及する材料が無くなる。自分の弱点を先に正確に出しておくのが、追及を止める最短の方法。

使う場面 報告や共有が遅れたとき。対策を説明したあとに添える。

言い換え I sat on this too long.

You should have known at eleven, not five.

The delay was mine.

ドラマ内 L41 Kenji Sato : Yes. I should have flagged it earlier — I found the March date at eleven and told you at five.

6 直訳「これをあなたにとって正しくするために、私は何ができますか」

What can I do to make this right for you?

あなたに対しては、どうすれば取り返せますか？

× 文法は正しい。でも通らない

Please forgive me. I will do anything.

どうか許してください。何でもします。

許しを求めているだけで、相手の損害は何も回復していない。しかも anything は具体性がゼロ。

○ 実際に使われる形

What can I do to make this right for you?

あなたに対しては、どうすれば取り返せますか？

被害を受けた本人に、回復の方法を聞く型。ここを推測でやると外れる。プリヤが求めていたのは謝罪でも埋め合わせでもなく、顧客のCTOに健司自身の名前でメールを出し、数字は自分のものだったと明記することだった。それは本人にしか分からない。for you を付けて、対象を組織ではなく個人に絞るのが肝。

使う場面 対策を完了したあと。個人に迷惑をかけた相手に対して。

言い換え What would make this right?

Tell me what you need from me.

Is there anything I can do on your side?

ドラマ内 L44 Kenji Sato : Priya. The four decks are corrected and re-sent. What can I do to make this right for you?

8 遠回し表現の読み解き

英語の職場では、否定や警告ほど遠回しになります。字面のまま受け取ると、警告を褒め言葉として持ち帰ってしまいます。本当の意味の欄を隠して、当てられるか試してください。

発言	言われた言葉	誰が	本当の意味
7	Okay.	プリヤ・シャルマ	許してはいない。会話を終わらせてだけ
—	Okay. (間があってから)	同僚	許してはいない。会話を終わらせてだけ
—	Let's make sure this doesn't happen again.	上司	対策を書面で出せ
—	Who else knows about this?	上司	被害範囲を今すぐ把握しろ
—	Walk me through it.	上司	詳細を全部出せ。省略は許さない
—	Thanks for flagging.	上司	報告自体は正しかった、という評価
—	Status.	上司	経緯は要らない。今どうなっているかだけ言え
—	That's the only part I'd change.	上司	他は正しい、という高い評価
—	Don't waste them.	同僚	もう謝るな、という励まし

9 音の変化

should have → シュダ

/ʃʊd hæv/ → /ʃʊdə/

I should have flagged this earlier.

アイ・シュダ・フラッグド・ディス・アーリア

have が「ア」になる	完了の have は h が落ちて /ə/ ひと音に縮む。should have は2語で「シュダ」
同じ形が並ぶ	could have はクダ、would have はウダ、must have はマスタ
過去の反省は全部この音	ミスの場面で最も多く飛んでくる音の形

「シュッド・ハブ」と発音していると、自分の反省が相手に届きません。

完了形の have は必ず縮みます。should have → シュダ、could have → クダ、would have → ウダ、must have → マスタ、I've already → アイヴ・オーレディ。ミスの場面はこの形が集中するので、ここだけで聞き取りやすさが変わります。

報告の英語は文頭が決まっています。Here's what happened → ヒアズ・ワツ・ハプンド、That one's on me → ザ・ワンゾン・ミー。文頭の塊を覚えておくと、緊張していても口が動きます。

10 文法・語法の解説ポイント

動画では触れていない、文法・語法の「なぜそうなるか」。右上のタグは文法カテゴリです。

L4 That's correct, isn't it?

付加疑問

付加疑問。肯定文＋否定の付加疑問で「～ですね？」と確認する。ここで健司は確認のつもりで使っているが、誤りを指摘された直後にこれを言うと、相手の指摘を疑う響きになる。付加疑問は同意を求める形なので、反論の場では避ける。

関連 tag question / 同意の要求

L6 It was the file that Tokyo sent me, and I assumed —

強調構文

It was A that B の強調構文。「東京が送ってきたファイルだったのだ」と原因を前に出している。文法としては正しいが、謝罪の直後に強調構文で原因を出すと、責任の所在をずらす動きになる。

関連 It is A that B / 責任の配置

L10 Then that's the first thing. Not the apology. The blast radius.

省略

動詞のない断片を並べる形。Not the apology (but) the blast radius で、対比の but すら省いている。緊急時の英語は文が短くなり、名詞だけで優先順位を示す。

関連 断片文 / 対比の省略

L13 Careful isn't a process, man.

品詞転換

形容詞 careful をそのまま主語にして、語そのものを話題にしている。第6話の Difficult isn't a number. と同じ型で、「その語では要件を満たさない」という却下の定型。

関連 語をそのまま主語にする / 却下の型

L17 the eighth sorry makes you look less reliable, not more

使役・比較

make + O + 原形 (look) の使役。末尾の not more は not more reliable の省略で、直前の比較級を受けている。英語は繰り返しを嫌うので、比較の後半をこう畳む。

関連 make O do / 比較級の省略

L26 It's true and it's not yours to say.

不定詞

yours to say で「あなたが言うべきこと」。名詞 + to do が「～すべき/～する権利のある」を表す形で、It's not mine to decide. (私が決めることではない) も同型。事実かどうかと、誰が言うべきかを切り分けている。

関連 名詞 + to do / 権利と役割

L40 So you fixed it, you shipped the fix, and then you told me.

時制

過去形を3つ並べて時系列を確認する形。and then で最後だけを際立たせている。サラはここで順番を確認しているのであって、内容を確認しているのではない。英語の評価は順番に厳しい。

関連 過去形の列挙 / 時系列の確認

11 多義語のワナ

よく知られている意味のまま読むと、意味が変わったり通じなくなる語です。

語	よく知る意味	この回での意味	例
figure	図・人物	数値	The uptime figure in the Halvorsen deck.
blast radius	爆風の半径	影響が及ぶ範囲	Not the apology. The blast radius.
process	過程	仕組み・手順（属人的でないもの）	Careful isn't a process, man.
count	数える	（対策として）認められる	The apology stops counting.
flag	旗	早めに知らせる・注意喚起する	I should have flagged this earlier.
ship	船で送る	（対策や機能を）出す・実装を完了する	You shipped the fix, and then you told me.
make it right	正しくする	埋め合わせる・信頼を回復する	What can I do to make this right for you?
copied	コピーされた	（メールで）CCに入っている	Sent forty minutes ago. You're copied.

A. 空所補充 日本語を見て英文を完成させる

- それは私の責任です。
That _____ me.
- 何が起きたかと、それに対して何をしているかを申し上げます。
Here's _____, and here's what I'm _____ about it.
- 再発防止はすでに入れました。ご説明します。
I've _____ put a fix _____ — let me walk you through it.
- 二度と起きません。理由を申し上げます。
It _____ happen again, and here's _____ —
- もっと早くお伝えすべきでした。
I _____ this earlier.
- あなたに対しては、どうすれば取り返せますか？
What can I do to _____ this _____ you?

B. どちらが通るか 同じ内容を、会議で機能する形に

- 自分の確認漏れでミスが判明した。上司への第一声。
(A) I'm so sorry. I'm really sorry. It was the file that Tokyo sent me. (B) That one's on me.
- 「で、再発防止は？」と聞かれた。
(A) I will be more careful next time. (B) It won't happen again, and here's why — nothing ships without a date stamp on the source.
- 報告のタイミング。どちらが正しいか。
(A) 問題を見つけた時点ですぐ報告し、対策はこれから考える (B) 先に直して対策を入れ、それから報告する
- 対策は完了した。迷惑をかけた同僚への一言。
(A) Please forgive me. I will do anything. (B) What can I do to make this right for you?
- 謝罪に対して間を置いて "Okay." と返された。これは？
(A) 許してもらえた (B) 許してはいない。会話を終わらせただけ

C. 和文英訳 「型」の再現

- それは私の責任です。何が起きたかと、それに対して何をしているかを申し上げます。
ヒント: 謝罪は1回 → 事実と対策を and でつなぐ

- 4件とも修正して再送済みです。再発防止もすでに入れました。
ヒント: already と現在完了で「もう動いている」

- 二度と起きません。出典に日付が無い資料は出せない仕組みにしました。
ヒント: 決意ではなく仕組みで語る

4. もっと早くお伝えするべきでした。11時に気づいて、報告は5時になりました。

ヒント: 怠ったことを時刻まで具体的に認める

D. ロールプレイ 3秒で口に出す

1. 自分の確認漏れで、顧客資料に誤った数字が載っていた。上司への第一声。

2. 「で、再発防止は？」と聞かれた。決意ではなく仕組みで答えたい。

3. 対策は完了した。迷惑をかけた同僚に、回復の方法を聞きたい。

A. 空所補充

1. one's on
2. what happened / doing
3. already / in place
4. won't / why
5. should have flagged
6. make / right for

B. どちらが通るか

1. (B) **That one's on me.** — 謝罪を繰り返したあとに言い訳を置くと、「謝ってはいるが自分のせいだとは思っていない」と伝わる。言い訳が一つ入った時点で、その前の謝罪は無効になる。
2. (B) **It won't happen again, and here's why — nothing ships without a date stamp on the source.** — 「気をつける」は仕組みではないので、相手から見れば同じミスが起きる確率は昨日と同じ。人の注意力ではなく作りを変える。
3. (B) **先に直して対策を入れ、それから報告する** — 人がミスを許すのは謝られたときではなく、もう手を打ったと分かったとき。ただし遅れたこと自体は I should have flagged this earlier. で別に認める。
4. (B) **What can I do to make this right for you?** — anything は具体性がゼロで、相手の損害は何も回復していない。回復の方法は被害を受けた本人にしか分からないので、推測せずに聞く。
5. (B) **許してはいない。会話を終わらせただけ** — 英語の Okay. は同意ではなく受領。特に間があってからの Okay. は、これ以上話したくないという合図。

C. 和文英訳（モデル解答）

1. That one's on me. Here's what happened, and here's what I'm doing about it.
2. All four are corrected and re-sent. I've already put a fix in place.
3. It won't happen again, and here's why — nothing ships without a date stamp on the source.
4. I should have flagged this earlier — I found it at eleven and told you at five.

D. ロールプレイ（モデル解答）

1. That one's on me. Here's what happened, and here's what I'm doing about it.
それは私の責任です。何が起きたかと、それに対して何をしているかを申し上げます。（型 1: That one's on me.）
2. It won't happen again, and here's why — nothing ships without a date stamp on the source.
二度と起きません。理由は、出典に日付が無い資料は出せない仕組みにしたからです。（型 4: It won't happen again, and here's why —）
3. What can I do to make this right for you?
あなたに対しては、どうすれば取り返せますか。（型 6: What can I do to make this right for you?）

Cは表現が一致していなくても、型（語順と要素の順番）が同じなら正解です。Dは3秒で言えたかどうかだけを見てください。内容の正しさは問いません。



SIN英語

youtube.com/@sin_ai_eigo

動画で見る

本冊は動画の内容に対応しています。音声と合わせて使うと定着が速くなります。この回の本編は、チャンネルの再生リストから選んでください。



チャンネル
CROSSROADS 全10話
youtube.com/@sin_ai_eigo

CROSSROADS 全10話

01 着任初日の洗礼 割り込み

02 すれ違う意思決定 曖昧の解消

03 氷上のチームビルディング 雑談

04 紛糾するアイデア出し 反対する

05 キーマンへの根回し 1on1の説得

06 予期せぬ予算削減 タフな交渉

07 信頼を揺るがすミス 謝罪と代替案

08 チームの反乱と結束 リーダーシップ

09 リハーサルでの酷評 フィードバック

10 運命の最終プレゼン プレゼンとQ&A

日本の中堅IT企業から、ニューヨーク本社へ出向した佐藤健司の90日間を追うシリーズです。英語音声＋日英字幕。1話につきキーフレーズ6本、全10話で60本。音声は合成音声を使用しています。登場人物・会社名・製品名・数値はすべて架空のものです。